MOBILE SUIT VARIATION

NEW MSV HAND BOOK 2

リアルマーキングシール付

U.G.0153

モビルスーツハンドブック

地球連邦軍立つ!
リガ・ミリティア反撃開始!

人類の宇宙移民開始から、およそ一世紀半ほどが過ぎたころ、月の進行方向にあるサイド2のコロニー〝アメリア〟において、ザンスカール帝国が勃興した。ザンスカール帝国は〝マリア主義〟を掲げ「母なるものを大切にする」という、その慈愛に満ちた主張とは裏腹に、ギロチンによる虐正と、徹底した統制政治によって、新たな覇権を打ち立てた。

地球連邦に反旗をひるがえしたザンスカール帝国は、連邦から脱退し、サイド2を統一するための軍事行動を開始した。〝ベスパ〟と呼ばれるザンスカール帝国軍は、もともとサイド2にあった「弾道研究と宇宙偵察部隊本部」という名称の組織を母体としている。ベスパという名前の由来は、その組織の頭文字を短縮したものであり、新型MSの開発も、その施設において進められた。ベスパが短期間で数多くの高性能MSを生み出すことができたのも、これらの設備と人員をそのまま利用したからなのだ。

宇宙世紀〇一五三年、ベスパのMS試験部隊〝イエロージャケット〟は、ザンスカール本国のサイド2攻略に並行して地球侵攻を開始し、東ヨーロッパの都市ラゲーンを制圧した。当時の連邦軍は弱体化しており、この作戦に何の対策も講じることができなかった。

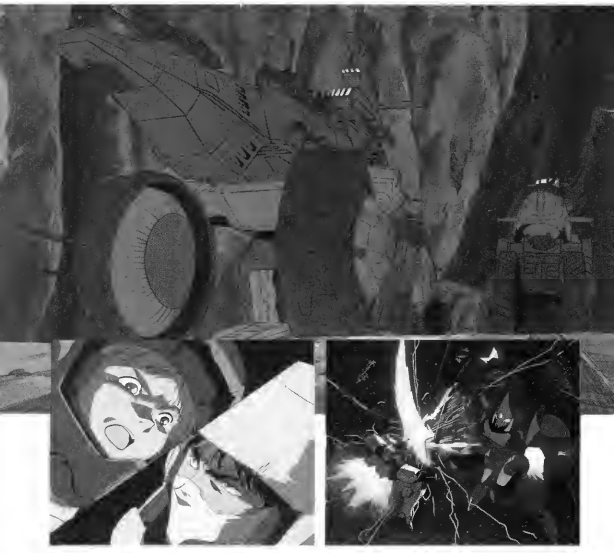
この事態に対し、数年前、ザンスカール帝国の建国に前後して組織されていた「リガ・ミリティア〝神聖軍事同盟〟」は抵抗闘争を展開し、ベスパの地球侵攻と、さらには宇宙に展開するベスパをも打ち砕くために立ち上がった。

抵抗運動の象徴としてVガンダムを開発したリガ・ミリティアは、他にもガンイージなどのMSを量産し、ヨーロッパを中心として展開しているベスパに対してゲリラ戦を挑んだ。ラゲーンからウーイッグ、そしてアーティ・ジブラルタルに到る地上戦では、双方ともに一進一退を繰り返していた。それも、大規模な総力戦はなく、一部の部隊が接触しては戦闘が散発するといった規模のものだった。リガ・ミリティアは、正規軍であるベスパとの戦いにおいて、甚大な被害を被りつつも、かなりの戦果を挙げていたことは事実である。

この時代ガンダムタイプの〝白いMS〟は伝説であり、抵抗のシンボルとも言える特別な存在だった。Vガンダムはまた、新たな伝説を作りつつあったのだ。

アーティ・ジブラルタルから戦線は拡

MOBILE SUIT
V-GUNDAM



大し、ベスパは、その戦力でリガ・ミリティアを圧倒する。ザンスカール帝国の実質的な建国者フォンセ・カガチの盟友であるムッターマ・ズガンが指揮するズガン艦隊を始め、軌道上から地球を狙い撃つ巨大要塞カイラスギリー、地球を蹂躙するモトラッド艦隊など、ベスパの繰り出す新兵器の登場によって、また、驚くべき速度で続々と開発される新型MS、MAの登場によって、戦闘はさらに熾烈をきわめる。

一方、リガ・ミリティア側でも、Vガンダムの強化型であるV2ガンダムを開発し、ベスパに対抗しようとしていた。さらに、リガ・ミリティアが展開する抵抗戦に、それまで静観し、部隊独自の判断で個別に参戦していた地球連邦軍が、本格的に参入してきた。これは、中央の役人の決定ではなく、連邦軍の宇宙艦隊司令であるムバラク・スターン将軍が、リガ・ミリティアの活動と、その指導者ジン・ジャハナムに感銘を受け、それに応える形で決定した作戦行動であった。そして、連邦軍宇宙艦隊の旗艦ジャンヌダルクをはじめ、多数の艦艇やMSがザンスカール帝国との戦いに参入してきた。

そのころザンスカール帝国は、最終兵器エンジェル・ハイロゥを極秘に開発、建造していた。この超巨大なサイコミュ要塞は、人間の闘争心や戦おうとする意志を無くすという機能を持っていた。この要塞が発する波動を照射された人間は退行現象を起こしてしまい、まるで幼児のように、なにもする事ができなくなってしまう。これはもはや兵器と呼べるものではなく、人類に向けられた、死に至る巨大な洗脳装置であったのだ。

敵の最終兵器の存在を知ったリガ・ミリティアと連邦軍の連合艦隊は、V2ガンダムが生み出す光の翼のもと、決戦の場へと進撃してゆく。

ZM-S06S ゾロアット

テーベ隊所属機

カルメ隊所属機

ゾロアット初期生産型

ゾロアット初期生産型

ZM-S06G ゾリディア

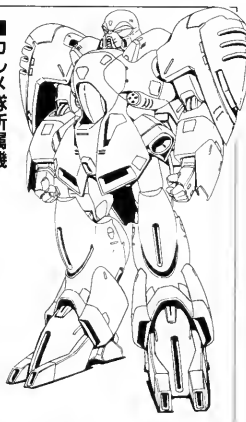
ゾリディア開発小史

■ゾロアット初期量産タイプ

ベスパが初めて量産を開始した当時のゾロアットでは、まだ固定武装は装備されておらず、ビームライフル、シールドをもって戦闘を行うタイプであった。また、塗装も、まず黒を基調とするものがロールアウトし、しばらくしてから、やや暗めの赤い塗装に変更。固定武装が施されてからは赤とアイボリーとの塗分けが標準となった。ゾロアットの中でも最も多く造られたのがこのタイプで、各コロニーや月面の工場などで生産された。

また、この機体は、後継機と目される新型機が実戦に投入されてからも生産が続けられており、ビームストリングなどの武装強化を施された機体もあり、トッリ・アーエス隊がエンジェルハイロウのモニターに使用したサイコミュ搭載のものも、そういった機体のひとつである。

なお、一通りの実用試験が終了して以降、固定武装のない旧タイプは、サイド2の連合艦隊との交戦が決定的となってからは、コロニー内部での使用に限定されるようになった。

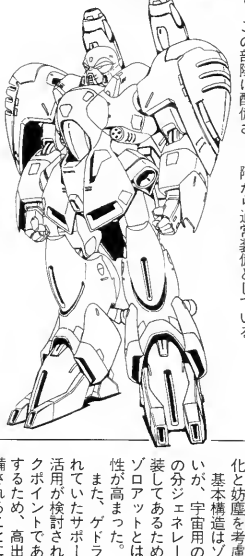


■テーベ隊所属機

偵察から工作、奇襲までをこなす、開戦当時のエースパイロットを集めて構成された特務部隊。機体は対レーダーコーティングがされた上に低視度迷彩のダークブルーで塗装されている。その任務の特殊性から、背部のビームキャノンなどは、かなり早い段階から通常装備としている。

■カルメ隊所属機

サイド2周辺の防衛を主任務とする部隊。配備される機体はグリーンの濃淡で塗り分けられている。この部隊に配備された機体は、当初のサイド2連合艦隊との交戦を繰り返しており、機体の損傷などが頻繁であったため、順次シャイターンなどの新型機への移行が進められている。



■ゾローター

ベスパの地上用MS開発はこの機体から始まった。ゾロアットの機体をベースに、新開発のビームローターを装備し、機体各所のアライメントから武装などの配置までが検討されていた。ゾロやトムリアットの直接的な原型機とも言える。

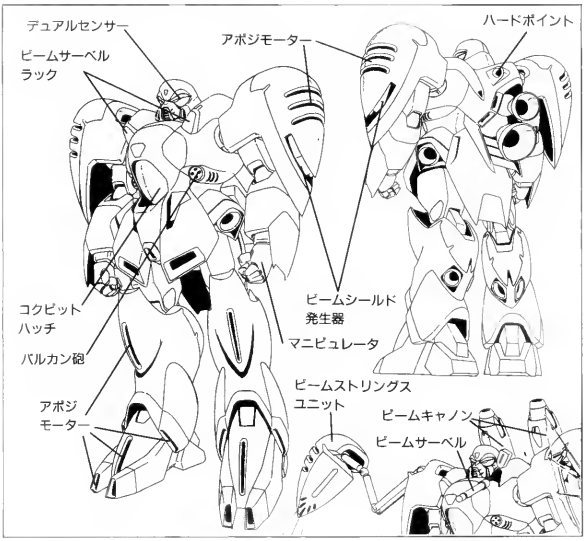
■ゾリディア

ゾロアットを地上用に改装したタイプ。宇宙空間で威力を発揮するビームストリングスなどの武装は廃され、左肩は初期タイプのものに差戻しとなった。また、各部のノズルもメインテナンスのフリー化と妨塵を考慮して閉じられている。

基本構造はゾロアットと変わっていないが、宇宙用の機器を一部取り外し、その分ジェネレータ出力を大きなものに換装してあるため、機能的には旧来からのゾロアットとは比較にならないほど機動性が高まった。

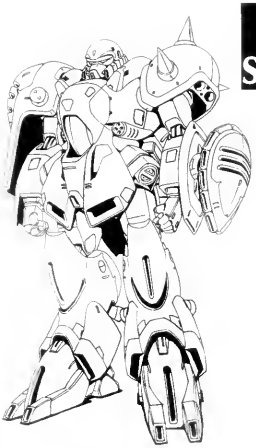
また、ゲドラフ用の装備として開発されていたサポートメカ、アインラッドの活用が検討され、アインラッドのウィークポイントである側面からの攻撃に対応するため、高出力のビームシールドが装備されることになった。

ZM-S06S
ZOLOAT



MS SPEC

頭頂高：14.5m
本体重量：8.2t
全備重量：19.8t
装甲材質：チタン合金ネオセラミック複合材
ジェネレータ出力：5280ｋW
スラスター推力：59030ｋg×1、20170ｋg×1
アポジモーター数：39武装：バルカン砲×2
ビームサーベル×2
ビームシールド×1
ビームライフル×1
5連ビームストリングス×1
（ビームキャノン×2）



■ゾリディアデザート

基本的にはゾリディアと同じだが、各部関節やインテイクなどに防砂用の装備が施されている。また、武装においても、より格闘戦に対応したものが装備されており、右肩のシールドと両膝にはスパイクが新たに装備され、左肩のスパイクはより先鋭化している。後頭部には通信機能向上のため、ロッドアンテナが装備されている。この機体は、中近東や西アジア、アフリカなどに展開する予定だった。

ZM-S06G
ZOLLIDIA

ZM-S06G
ゾリディア改

ZM-S06Sゾロアット

（ホワイトアット）リガ・ミリティアにより回収、使用されたもの

ZM-S06GD
ゾリディアデザート

ZMT-S06G ゾロロータ-

ZMT-S13G ゴッゾーラ

ベスパの試作モビルスーツ

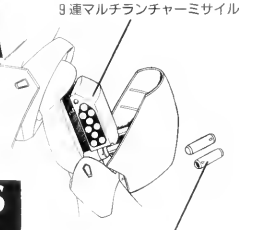
■ゴッゾーラ

ゴッゾーラは、ベスパが地球侵攻に際して開発した重力下専用の試作ＭＳである。この機体によって行われた試験には、ゾロの投入によって明らかとなった地球上でのＭＳ運用における諸問題を検討するための目的もあった。

まず、ビームローターの稼働効率と消費エネルギーの省力化および、新型センサーの搭載が実施された。ゾロに装備されるビームローターは、ビーム発振端末を4基持つが、その端末を同じ消費エネルギー単位で3基に減らしても実用に堪えうるかどうかということが検討されていたのである。このトリニティタイプのビームローターは、実用上ほぼ支障なく稼働し、充分に実戦に投入できることが確認された。

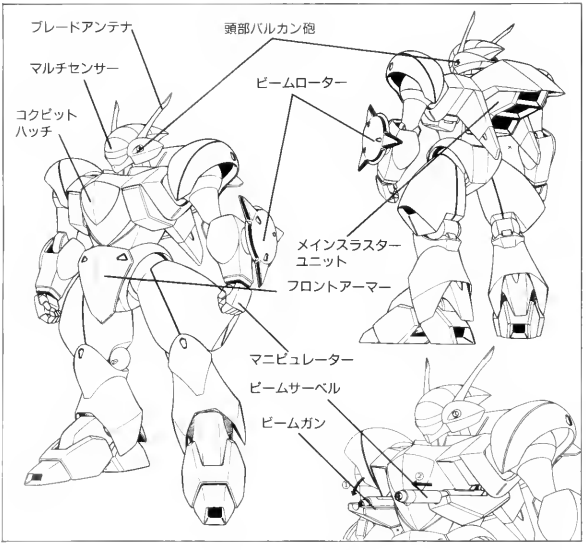
これらの技術はさらに進展し、ビーム発生器の出力を向上させ、飛行に必要な発生器数を減少させた。それは後に、トムリアットの発展型であるドムットリアに搭載され、2基の発振端末を持つビームローターでの稼働さえ可能としている。

ZMT-S13G
GODZORLA

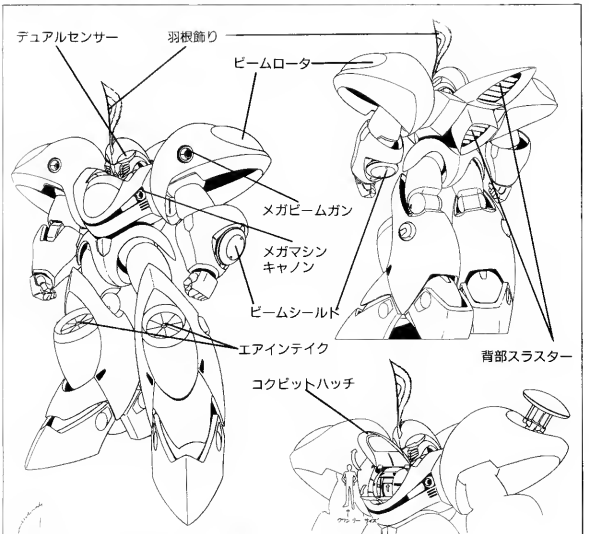


頭頂高：14.6m
本体重量：8.1t
全備重量：20.9t
装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材
ジェネレータ出力：4990kW
スラスター推力：16620kg×1、
アポジモーター数：12
武装：バルカン砲×2
　　ビームサーベル×2
　　ビームローター×1
　　ビームライフル×1
　　9連マルチランチャー×2

MS SPEC



ZMT-S16G
MEMEDORZA



MS SPEC

頭頂高：14.7m
本体重量：8.5t
全備重量：26.2t
装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材
ジェネレータ出力：5570kw
スラスター推力：26960kg×1、10840kg×2
アポジモーター数：6
武装：メガビームガン×2
メガマシンキャノン×2
ビームサーベル×1
ビームローター×2
ビームライフル×1
ビームシールド×1

■メッメドーザ

ベスバの地上用MS投入で問題になったのは、ビームローターが装備される腕部の自由度が減少することにあった。実際には、戦闘状況に陥ったMSは、ビームローターの機動性だけでは交戦しておらず、機体各所に配置されたアポジモータなどで機動していたのだが、それでは戦闘への柔軟な対応が困難であったため、状況によらない固定武装としての〝ビームローター／ビームシールド〟の開発が待望されていたのである。

これに前後して、空間戦闘用のMSにおいても、ビームシールドの設置部分の再検討が行われていたのは周知の事実である。ビームローターの開発当初、ローターの基部をどこに設置するかは徹底的に検討されたが、結局ゾロやトムリアットなどでは、巡航状態とMS形態での設置場所を変更するという方法が採用されていた。

メッメドーザは、その中で採用されたツインビームローターを搭載した機体である。無論、他の機動を伴わせるため、脚部には熱核ジェットを装備し、機動性は格段に向上している。

ZMT-S16G メッメドーザ

ZMT-S12G シャッコー

ZM-S22S リグシャッコー

近衛師団用

リグシャッコー
（ビームローター装備型）

■シャッコーの開発

シャッコーは、ベスパにおいて地球侵攻作戦が実行されるのに並行して開発が進んでいた汎用の高性能MSのプロトタイプである。

この機体は、ゾロのように対地兵器の合体によってMSとなる方法を採らず、最初から対MS戦を想定した機体であった。そのため、格闘や白兵に対応した機体となっており、内蔵兵装は極力排除されている上、運動性の向上に主眼を置いて開発されていた。

そして、宇宙空間での稼働試験の後、地球上のヨーロッパ地区平定の橋頭堡であるラゲーン基地に移送され、女王マリア・ピア・アーモニアの実弟クロノクル・アシャー中尉がテストパイロットとして乗り込み、重力下試験が行われている最中、リガ・ミリティアの小型戦闘機と交戦した上、機体を強奪されてしまった。

この事は、MSの試験を行っていたイエロージャケットにしてみればとんでもない失態ではあったが、用兵を監督しているベスパの一部の上層部では、この機体の操作性の優秀さが証明されたと見る向きもあった。報告によれば、13～14歳の子供がシャッコーを操ったのだと聞いて、逆に、本国においては学徒動員さえ実施されている状況であり、戦力充実のため、シャッコーの即事量産を推進する声が高まったのである。

この機体のデータは、回収後ただちにカイラスギリーならびにザンスカール本国へと送られ、その後のベスパ製MSの開発計画に組み込まれていった。

■リグシャッコー

シャッコーの試験結果をもとに、優秀な操作性はそのままに、さらに戦闘能力の充実を計った機体。基本的に宇宙用と地上用の設計に変更はなく、追加装備の変更のみで、投入される環境に対応することが可能となっている。

シャッコーが開発されていた時期は、地上用の装備として考えられていたのは、基本的に移動と防御のためのビームローターのみであったが、ビームローターの機動性の低さを指摘する声は、ベスパ内部でも少なくなかった。

そこで、攻防一体となったアインラッドが開発され、ベスパの地上用MSによる戦術は一変した。アインラッドは、その巨大な車輪によって、通常の車両を上回る機動性と走破性を獲得した上、その機体そのものを武装として戦闘することも可能だった。

当初、リグシャッコーが重力下で使用される場合、基本装備としてビームローターを搭載する予定だったが、このアインラッドの兵器としての充実があったため、配備される場所によっては、ビームローターの搭載が見送られることもあった。しかし、これらの運用案のほとんどが、量産開始前後に決定していたため、リグシャッコーはかなりフレキシブルな機体として、ベスパ製MSの中でも様々なバリエーションを持つ、特殊な機体となっていったのである。

■クラスホッパー隊

宇宙でも重力下でも運用のできるリグシャッコーも、量産が進んでくると地球圏にも配備されるようになった。特にイエロージャケット専用として配備されたグループは、外部色がグリーンを基調としたカラーリングを施されていた。この機体が一斉に攻撃をかける様は、まるで大陸バッタの大移動のように、その過ぎ去った後には何も残らないほどすさまじいものであったと言い、いつの間にかクラスホッパー隊の名で呼ばれる事となった。なお地球圏に配備されたリグシャッコーは、全てビームローターが標準装備されていた。

■近衛師団用リグシャッコー

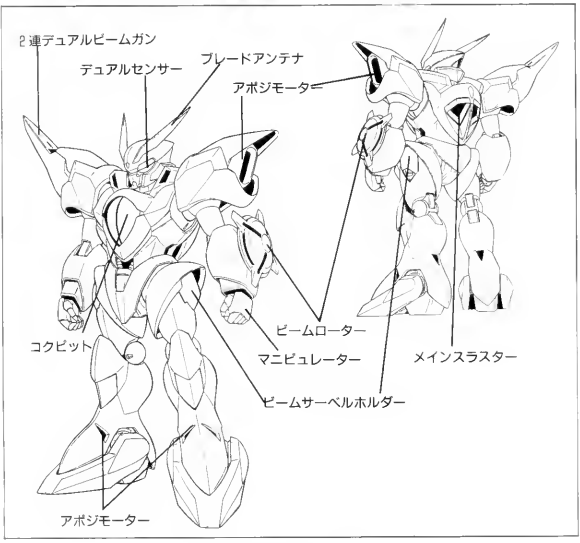
リグシャッコーの優秀性は、実戦投入で証明された。この機体が格闘、白兵を主眼において開発されたことはすでに述べたが、それは、首都防衛の必要性をベスパの首脳陣が感じていたためである。

ザンスカール帝国は、サイド2の中にあり、しかもサイド2全てを勢力下に置いてはいない。地球侵攻と同時にサイド2の連合艦隊との交戦もしなければならないという戦況は、当然、本国防衛の必要性も想定しなければならないことを意味する。リグシャッコーは、本来、そう言った任務につくためもあって開発されていたのだが、もうひとつ、特殊任務に従事するための特殊な機体が存在する。それが近衛師団用リグシャッコーである。

この機体の特徴は、実体シールドと、ビームウィップが装備されていることで、女王マリアを乗せた巨大サイコミュ要塞、エンジェルハイロゥ直属の部隊に所属している。

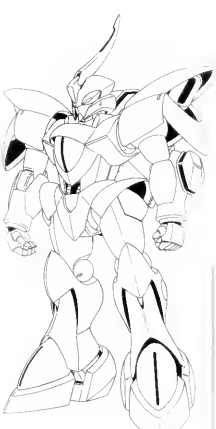
ビームシールドは、宇宙空間で敵機に

ZMT-S12G
SHOKEW



MS SPEC

頭頂高：14.7m
本体重量：7.9t
全備重量：19.2t
装甲材質：チタン合金ネオセラミック複合材
ジェネレーター出力：5190kw
スラスター推力：15490kg重×2、
アポジモーター数：16
武装：ビームサーベル×2
ビームローター×1
ビームライフル×1
2連ショルダービームガン×1



ZM-S22S
RIG SHOKEW

補足されやすいという欠点があり、近衛師団用の機体では、上層部の人員や高官などを護衛する任務も想定されたため、敵の標的になる恐れのあるビームシールドの装備を差し控え、さらにデッドウェイトとならないように、アポジモーターやビームガンを装備したサポートシステムとしての機能を持った実体シールドを装備することになった。また、ビームライフルは、コロニーなどの施設に被害を及ぼすことがあるため、いわゆる流れ弾を自らが作り出さないよう、特殊な武装が施されているのである。この機体は、エンジェルハイロウ自体の護衛のほか、装置の稼働に必要なサイキッカーたちを移送する球形コロニー、ブルー3での人員の護送部隊にも配備されていた。

ZM-S14Sコンティオ

〈ザンスカール帝国軍マーキング〉

■パーソナルエンブレム

首都防衛隊

エンジェルハイロゥ守備隊

ゴッドワルド・ハイン

ドゥカー・イク

モトラッド艦隊
中隊長　一般兵

アジス・バギ

カテジナ・ルース

ZM-S19Sシャイターン

近衛師団用

ZM-S14S CONTIO

ZMT-S14S

■コンティオ

ゾロアットの後継機として開発された宇宙用のMS。さらなる武装強化が施されており、新機軸の武装が各所に盛り込まれている。

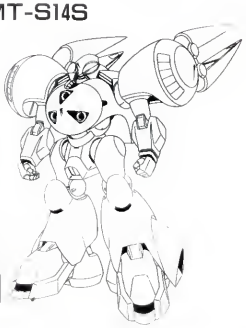
両肩に装備されるショットクローは、巨大なビームサーベルやビームカッターを作りだし、その上ユニット全体が有線式の攻撃端末となり、あたかもニュータイプ専用機のようなオールレンジ攻撃を繰り出す。また、胸部に強力なビーム砲を三基装備しており、そのためコクピットハッチは背部に設置されている。

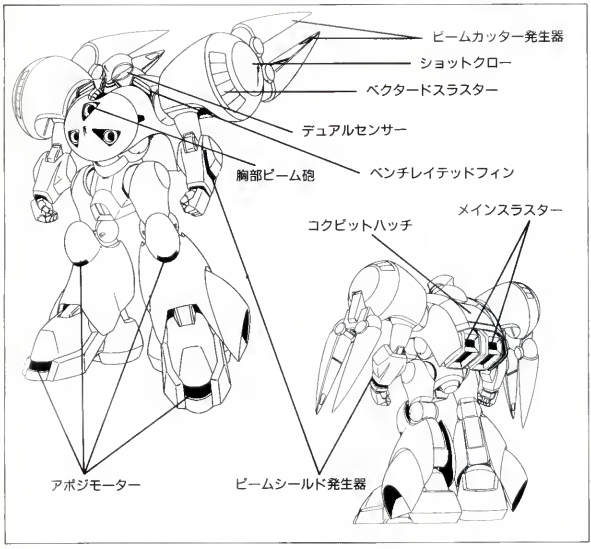
この機体で特徴的なことは、試作機がそのまま実戦に投入されたことで、細部で異なる二機種が存在する。それは、次世代機に搭載される予定のビームシールドの試験的搭載である。この技術は、マニピュレーターの基部（手首）にビームシールド発生器を内蔵させ、攻撃と防御を同時におこなえるというものだった。本来なら、この機体の量産に合わせて通常装備となる予定だったが、そのユニットの生産が間に合わず、急遽、ゾロアットと同型の発生器と差し換えて装備されることとなってしまったのである。

頭頂高：16.1m
本体重量：10.9t
全備重量：21.8t
装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材
ジェネレータ出力：5960kw
スラスター推力：21410kg×2、16960×2、8500×2
アポジモーター数：38
武装：ビーム内蔵ショットクロー×2
　胸部ビーム砲×3
　ビームライフル×1
　ビームシールド×1

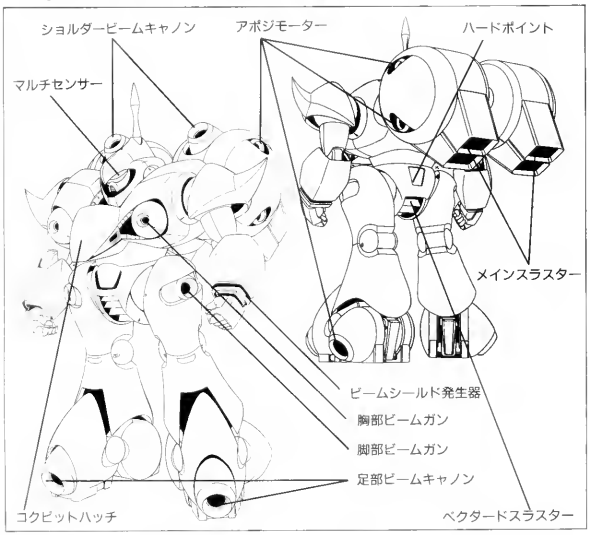
クロノクル・アシャー専用機

MS SPEC





ZM-S19S
SHY-TARN



MS SPEC

頭頂高：15.9m
本体重量：11.4t
全備重量：19.8t
装甲材質：チタン合金ネオセラミック複合材
ジェネレータ出力：4980kw
スラスター推力：15480kg×4、11610×2
アポジモーター数：16
武装：ショルダービームキャノン×２
胸部ビームガン×２
脚部ビームガン×２
足部ビームキャノン×２
ビームシールド×１
ビームライフル×１

■シャイターン

シャイターンは、戦略的に首都防衛の必要が想定されたために開発された機体である。戦術的には迎撃に対応した機体となっており、強靱な装甲と強力な８基のビーム砲が機体各所に装備されている。

この機体は、当時の基準からすればかなり大型の部類に入るが、これは運動性によって敵のＭＳと格闘することを主任務としておらず、航続距離なども犠牲としているためである。その能力はまさに移動砲台とでも呼ぶべきもので、この機体の持つ防御力は破格のものであり、火力は戦艦にも匹敵するとまで言われている。

また、コロニー周辺における空間戦闘を想定しているため、背部のスラスターや機体各所のアポジモーターも強力なものが装備されており、外観からは想像できないような、高い機動力を備えている。

■近衛師団専用機

この機体は、基本的に量産機を改装したもので、配備された当初は、儀礼用に多く用いられていた。ます、ショルダービームキャノンがそれぞれ二門のものと換装され、胸部のビームガンも、さらに正確な射撃ができるようにロングバレルのものと交換されている。さらに、コロニー内戦闘を想定し、敵機を爆発させないようロングスピアアックスを装備する。

この機体は、機体各所にエングレービングが施され、女王マリアの恩寵の儀式の護衛や、艦隊出撃の際の閲見の儀式において、その威容を誇っていた。

RGM-122 ジャベリン

宇宙艦隊所属機

ザグレン隊所属機

メガスピア搭載型
ジャベリン

ジャベリン初期型

RGM-122 プロトタイプジャベリン

■ジャベリン

RGM-119ジェムズガンはRGM-109ビーガンをもとに、性能を落とすことなくメインテナンスの簡潔化を目標とした機体であった。その開発途中から、同じフレームを使用する宇宙用高出力機をも同時に開発する事となり、これによって開発された機体がジャベリンであった。

先に開発していたジェムズガンよりはやや高性能と言えるが、UC0153年時においては、やはり旧式MSと言わざるを得ない。ただし、開発に前後する時期にクロスボーン・バンガードによって使用されていたショットランサーの搭載は、非常に画期的なことであった。

■試作タイプ

途中から開発の決まった宇宙用MSのデータを収集するために、先に完成したジェムズガンを改造して製作された機体。

ジェムズガンの機体にジャベリン用の試作パーツを組み合わせて調整された。外部色は当初カナリアイエローであったが、ジャベリンが正式承認されてからは肩にRGM-122のナンバーが記入されている。

■初期生産タイプ

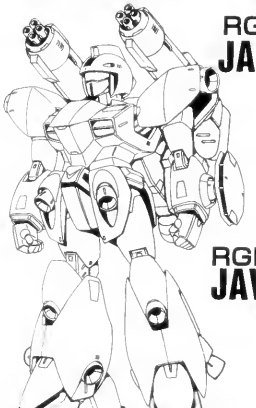
正式承認となったジャベリンは、アナハイム社における生産ラインによって量産されることとなったが、当初はジェムズガンと共用ラインで量産された。

この時期に生産されたタイプは、一部にジェムズガンと共用のパーツを使用している。なお、このタイプよりジャベリンの名称の由来ともなった固定武装を標準装備している。

■量産タイプ

やがて、ジェムズガンの生産も終了を迎え、以降の量産型汎用モビルスーツはジャベリンに統一されることとなった時点で、各パーツともにジャベリン専用のパーツで組み立てられる事となり、一部設計の見直しがされている。

なお、生産ラインによっては、腰横のBOXやセンサーアイのカバーなどの有無に差異がある。



RGM-122
JAVERIN

RGM-122C
JAVERINCANON

■ザグレン隊

サイドーに配備されていた部隊。コロニー空間内の光の反射を考慮してやや暗いエメラルドグリーンで塗装されている。

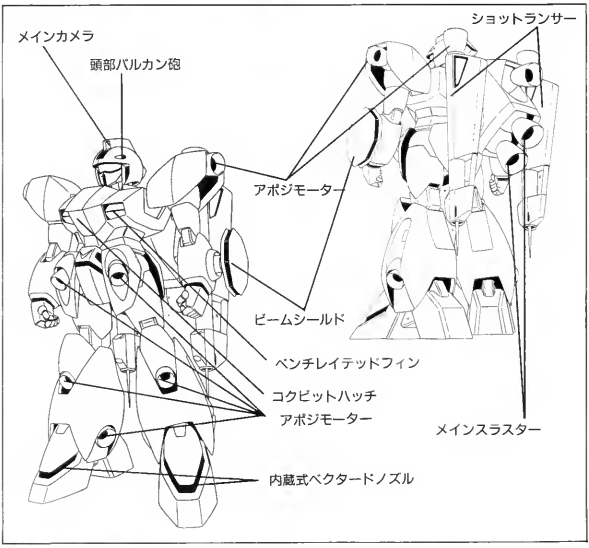
■宇宙艦隊所属機

地球連邦軍汎用MSジムの伝統を受け継ぐ赤と白のカラーリング。なお、宇宙艦隊には、一時的に地上用のジェムズガンが、宇宙用装備と換装し配備されていたこともあった。

■ティルコッド隊

対艦戦を専門とする特務部隊。背部の大型ユニットは、ランドセルから外すことはできない。ミサイルタイプの大型ランスを高速で撃ちだし、敵艦の装甲を貫く

RGM-122
JAVERIN



MS SPEC

頭頂高：14.5m
本体重量：8.1t
全備重量：16.5t
装甲材質：ガンダリウム合金セラミック複合材
ジェネレータ出力：3980kw
スラスター推力：23630kg×2、21600kg×2
アポジモーター数：18
武装：頭部バルカン砲×2
ビームサーベル×2
ビームシールド×1
ビームライフル×1
ショットランサー×2

というもので破壊力は高い。塗装はイエローグリーン。

■ジャベリンキャノン

量産後期に小数生産されたタイプ。背部のジャベリンユニットをビーム砲に換装してあり、エネルギーはランドセルより供給する。

しかし、そもそもジャベリンは汎用タイプであり、砲撃に使う分のエネルギーは積んでいないため、攻撃できる回数に限りがあり、充分に性能を出せなかった。

ちなみに、暗黙の内にリガ・ミリティアに参画したザグレン隊に配備されたものは赤に、ティルコッド隊に配備されたものは濃い青に塗装されている。

RGM-122C
JAVERINCANON

RGM-122C ジャベリンキャノン

〈連邦軍マーキング〉

ハグレ隊

ザグレン隊

ブラボー隊

〈リガ・ミリティアマーキング〉

(新)
リガ・ミリティア

マーヘット
・フィンガーハット

トマーシュ・マサリク

オデロ・ヘンリーク

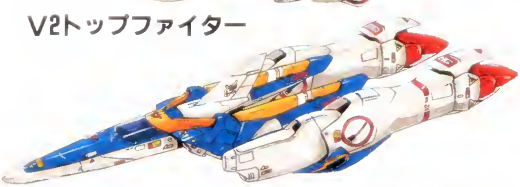
RGM-122C ジャベリンキャノン

〔4連装〕

LM314V21 V2ガンダム

V2コアファイター

V2トップファイター



V2ボトムファイター

リガ・ミリティアのMS

■V2ガンダム

この機体は、リガ・ミリティアを象徴するMSとして新たに開発された、ミノフスキードライブユニットの搭載を前提として開発された最新鋭MSである。ミノフスキードライブは、本来Vーの強化パーツとして開発されていたものだった。しかし、そのスペックにVーの機体が耐えられないことが判明したため、急遽、機体そのものが新設計されることになったのだ。その意味で、この機体はVーとはまったく別な機体であるといっても過言ではない。つまり、Vガンダムを開発案の基本としながらも、新たな機能装備を達成した最強のMSである。

■ミノフスキードライブ

V2ガンダムに搭載される2基のミノフスキードライブユニットは、それまでのミノフスキー理論応用物理学による浮遊、機動システムを凌駕する技術によって作られている。

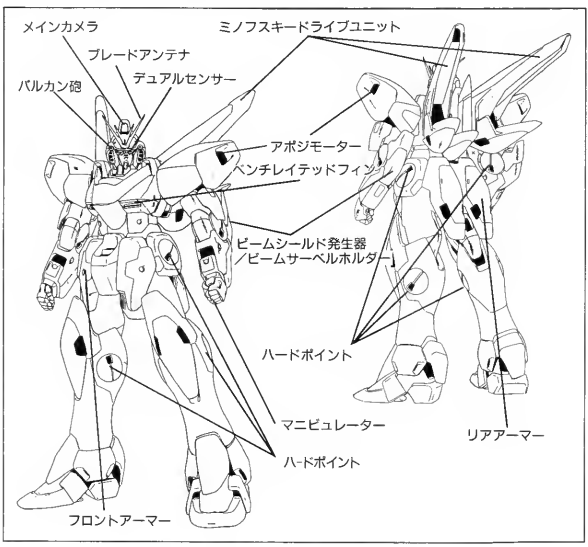
通常のミノフスキークラフトやミノフスキーフライトといった技術は、基本的にミノフスキー粒子による立方格子形成を利用して、自重を相殺する程度のものだった。つまり、機体周辺に組み上げられた骨組みの上に乗っているだけのものだった。これは、どんな大規模な艦艇に搭載されているようなものでも基本的にはほとんど変わらない。ところが、V2ガンダムのミノフスキードライブユニットは、その基本原理からして、まったく異質のものだったのである。

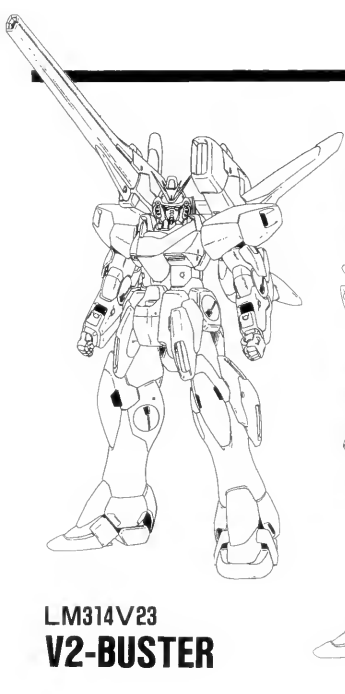
ミノフスキードライブの稼働原理は、

LM314V21
V2 GUNDAM

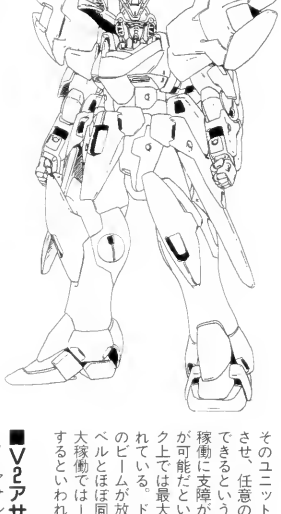
MS SPEC

頭頂高：15.5m
本体重量：11.5t
全備重量：15.9t
装甲材質：ガンダリウム合金スーパーセラミック複合材
ジェネレータ出力：7510kw
スラスター推力：ミノフスキードライブ×2、16700kg×2、4770kg×2
アポジモーター数：42
ハードポイント数：10
武装：頭部バルカン砲×2
ビームサーベル×2(2)
ビームシールド×1
マルチプルランチャー付ビームライフル×1





LM314V24
V2-ASSAULT



LM314V23
V2-BUSTER

そのユニットの内部にフィールドを発生させ、任意の方向に反発力を得ることができるというものである。原理的には、稼働に支障がなければ亜光速までの加速が可能だといわれている。また、スペック上では最大20Gでの機動も可能だとされている。ドライブユニットからは翼状のビームが放出され、それはビームサーベルとほぼ同様の能力ももっており、最大稼働ではーキロに及ぶビーム刃を形成するといわれている。

■V2アサルト

V2アサルトガンダムは、V2のさらなる能力強化を目標として開発された装甲強化ヴァージョンである。

基本スペックそのものが底上げされたV2においても、ザンスカール帝国との決戦を想定した場合、装甲や武装を強化した追加装備が検討された。基本的には、この装備に先行して開発されていたメガビームシールドの機能を追加装甲にも持たせ、さらにーフィールドジェネレータを装備することによって、総合的な防御能力の向上を目的としている。

これらの装備はあくまでも中、長距離からのビーム攻撃に対して有効であって、装着に通常のハードポイントなどを使用していることもあり、格闘戦においては損壊、破損の実例が報告されている。ただし、腰部に装備されるウェスバーは、中距離支援用の武器としても有効であり、V2で対応できる戦術の幅を広げたことは、リガ・ミリティアの戦略にとっても、計り知れない恩恵をもたらした。

■V2バスター

V2バスターに追加装備されたユニットは、主に長距離支援用のビームキャノンとスプレービームポッド、さらにマイクロミサイルポッドなどで構成され、構造的にミノフスキードライブユニットのフレキシビリティを追加し、総合的には機動性を向上させる効果も持っている。この武装は、主に拠点攻撃の強襲用装備として開発されていたが、アサルト用の換装部品との併用も考慮されており、装着部位が重複しないように考慮されている。そのため、双方の武装を装着することも可能であり、そのヴァージョンを、便宜的に、V2アサルトバスターガンダムと呼称する。

LM314V24 V2アサルトガンダム

LM314V24
V2アサルトバスターガンダム

LM314V23
V2バスターガンダム

Challenge・3

付属シールでリアルタイプに！

マーキングシールの使い方

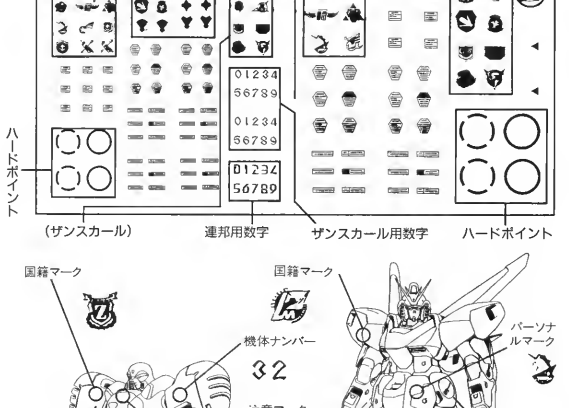
本誌中央にとじてあるマーキングシールを使えば、君のプラモデルも、よりリアルに仕上げることができます。ちょっと面倒な作業だけど、その効果は抜群！

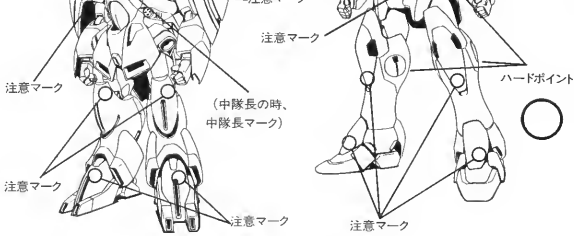
1　まず、本誌中央からマーキングシールをていねいにはずします。ハンドブック本体は壊さないように注意しましょう。

2　カッター等を使って、マークの回りを切り取ります。刃先には十分注意してください。また、台紙ごとハサミ等で切りはなしてもよいでしょう。

3　切り取ったマークを、プラモデル本体に貼ります。ハンドブックのカラーページを見比べながら、貼る位置や向きをまちがえないようにしましょう。

※　注意書きのマークは、貼る種類や位置は、特に指定はありません。カラーページのイラストを参考にしながら、好きな所に貼りましょう。





Challenge・4

カラーバリエーションに挑戦！

缶スプレーによるカラーリング

バトルMSコレクションシリーズでは、本体の各部パーツが、ポリパーツ（Vフレーム）で連結された構造をしています。今回は、これを利用して、ジャベリンのカラーバリエーションを簡単に作ってみましょう。

■用意するもの

・ジャベリン（完成させておくこと）・缶スプレー（模型用のもの。使う色は、下の表を見てね）

・新聞紙などの大きな紙。又は、ふろしきなど。（スプレー塗料を使うときは、回りを汚さないように必ず敷きましょう）

・割りばし、両面テープなど。（部品を固定するのに使います）

1　一度完成したジャベリンから、Vフレームを抜いて各パーツごとに分けます。

2　色を着けたいパーツを、割りばしの先などに固定します。

3　固定したパーツに向かって缶スプレーで色を着けます。約30cm位はなして、各方向からまんべんなく塗ります。一度に大量に缶スプレーで塗ると、乾かないばかりか、ムラ（ベタ）になります。少しずつ塗っては乾かしながら、何度も塗るようにします。

4　塗料が完全に乾いたら、再びVフレームを使って各パーツを組み立ててみましょう。また、細い筆を使って細部を塗ると、よりリアルになります。

もちろん、バトルMSコレクションは色を塗らなくてもカラフルな仕上がりが味わえます。

接着剤は不要のスナップフィットキットですが、塗装される方は、接合面を接着し、乾いてから紙ヤスリをかけて、合わせ目を消すようにしましょう。さらに、美しい仕上がりとなります。

■タイプC

■タイプB

■タイプA

タイプ1	A	B	胴インテーク	ランドセル	スピア	
宇宙艦隊所属機	ホワイト	シャインレッド or西部レッドT	ニュートラルグレー	（本体Bと同じ）	ニュートラルグレー&本体Bと同じ	

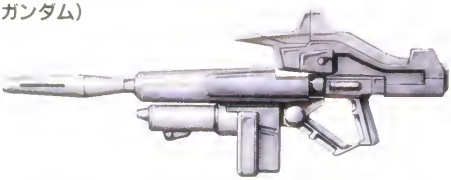
タイプ2	A	B	C	D	胴インテーク	ランドセル	スピア	
バグレ隊（通常機）	青22号T	明灰白色		ネービーブルー	黄橙色	（本体Aと同じ）	ネービーブルー&明灰白色	
ザグレン隊	青緑							
ティルコット隊	シャインレッド or西部レッドT	ホワイト	ニュートラルグレー				ニュートラルグレー	キャノン砲タイプ

タイプ3	A	B	C	D	胴インテーク	ランドセル	スピア	
メガスピアタイプ	黄緑6号T	明灰白色		ネービーブルー	黄橙色	（本体Aと同じ）	ニュートラルグレー	大型スピア
プロトタイプ	黄橙色 or黄5号T	ホワイト		ネービーブルー or黒	明灰白色orシルバー			
ジャベリンキャノン	インディブルー or青20号T	ニュートラルグレー	（本体A）	黒	黄橙色	（本体Aと同じ）	ミディアムブルーor紫	キャノン砲タイプ

※上記のカラー名は、塗り分けの一例です。混色等、設定とは一部異なるものもあります。
※Tは鉄道カラーです。
※細部はカラーページを参照してください。

■リガ・ミリティアMS用銃器

マルチプルランチャー付ビームライフル
（V2ガンダム）

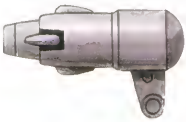


メガビームシールド
（Vダッシュ、V2ガンダム）

メガビームライフル
（V2ガンダム）

■ザンスカール帝国軍MS用銃器

ビームキャノン
（ゾロアット他）



ビームライフル
（コンティオ）

ハンドビームガン
（リグシャッコー）

ビームライフル
（リグシャッコー）

ビームライフル
（ジャバコ）

ビームライフル
（ゴトラタン）

機動戦士Vガンダム

プラモデル商品リスト

チェック欄は購入の有無や、制作中、完成、等を区分してチェックできます。上手に活用してください。

	スケール	〈品名〉	〈発売日〉	〈価格〉	〈チェック欄〉
		■HG・EXシリーズ			
1	1/60	V2ガンダム	93.10	¥3.000	□□□□
		■HGシリーズ			
1	1/100	Vガンダム	93.4	¥1.500	□□□□
2	1/100	Vダッシュガンダム	93.7	¥1.800	□□□□
3	1/100	ガンブラスター	93.8	¥1.000	□□□□
4	1/100	V2ガンダム	93.9	¥1.500	□□□□
5	1/100	ゾリディア	93.11	¥1.000	□□□□
6	1/100	V2アサルトガンダム	94.1	¥1.800	□□□□
7	1/100	V2バスターガンダム	94.3	¥1.800	□□□□
		■バトルMSコレクション			
1	1/144	Vガンダム	93.5	¥500	□□□□
2	1/144	ガンイージ	93.5	¥500	□□□□
3	1/144	ジェムズガン	93.6	¥500	□□□□
4	1/144	トムリアット	93.6	¥500	□□□□
5	1/144	ゾロアット	93.7	¥500	□□□□
6	1/144	ジャベリン	93.7	¥500	□□□□
7	1/144	Vダッシュガンダム	93.8	¥700	□□□□
8	1/144	コンティオ	93.8	¥500	□□□□
9	1/144	V2ガンダム	93.9	¥700	□□□□
10	1/144	シャイターン	93.9	¥500	□□□□
11	1/144	ガンブラスター	93.10	¥700	□□□□
12	1/144	アビゴル	93.10	¥700	□□□□
13	1/144	リグシャッコー	93.11	¥500	□□□□
14	1/144	武器セット	93.11	¥500	□□□□
15	1/144	ゾリディア	93.12	¥500	□□□□
16	1/144	V2バスターガンダム	94.2	¥500	□□□□
		MSVハンドブック	93.11	¥200	□□□□
		MSVハンドブック2	94.5	¥200	□□□□

※価格は、メーカー小売り価格です。尚、この価格には消費税は含まれていません。

機動戦士ガンダム
NEWモビルスーツバリエーション
ハンドブック2

1994年5月　初版
編集・発行　株式会社バンダイホビー事業部
協力　株式会社サンライズ
表紙イラスト　大河原邦男
編集協力　伸童社
渡辺利浩
シイバミツヲ
株式会社マインド
株式会社マイク
印刷　凸版印刷株式会社

落丁、乱丁本は当社にておとりかえいたします。

新しい ガンダム登場！

機動武闘伝 Gガンダム

舞台は未来世紀！
MS(モビルスーツ)はMF(モビルファイター)に生まれ変わった!!
コロニー国家の誇りを賭けて、MFの熾烈な闘いの火蓋が切って落とされる！
シャイニングガンダムの必殺拳がうなる!!

圧倒的なボリューム感でプラモデル化決定！
シリーズ続々登場!!

1/100	HGシャイニングガンダム	￥1,500
1/144	シャイニングガンダム	￥500
1/144	ドラゴンガンダム	￥500
1/144	ガンダムマックスター	￥500
1/144	ガンダムローズ	￥500
1/144	ボルトガンダム	￥500

※価格は、メーカー小売り価格です。尚、この価格には消費税は含まれていません。

MECHANIC DESIGN by KUNIO OHKAWARA

ZM-S 08G **ZOLO**

■MS SPEC

頭頂高：14.8m
本体重量：8.9t
全備重量：21.2t
装甲材質：チタン合金ネオセラミック複合材
ジェネレータ出力：5121kw
スラスター推力：11890kg×2、7630×2
アポジモーター数：30
武装：ビームサーベル×2
ビームローター×1
バルカン砲×（分離時のみ）
ビームライフル×1
その他携帯火器
ビームバズーカ
ガトリングガン

機動戦士Vガンダム
新モビルスーツバリエーション・ハンドブック②

株式会社バンダイホビー事業部
〒111-81 東京都台東区駒形2-5-4
TEL:03-3847-5116〈直通〉

©創通エージェンシー・サンライズ・テレビ朝日

647274-0043422-200
4902425 43422 3